



国際親善総合病院

病院だより

NO. 241
Winter 2015.1

地域医療連携推進会議開催

新年のご挨拶

国際親善総合病院

管理栄養士の シリーズ第3回
メディカルレシピ
ヘルシーメニュー

2015年 未年
年男・年女

病院のできごと

春 夏 秋 冬

院内を写真で紹介するシリーズ

秋のステージ

特集 看護相談室

安心して治療や日常生活を
お過ごしいただくために

病院の理念
良質な医療の実施
親切な医療の実施
信頼される医療の実施

表紙の絵：金子 沙奈絵（総務課）

手指消毒・サージカルマスク着用のお願い

例年、冬になりますとインフルエンザやノロウイルスなどが流行します。
(ウイルスや細菌は手指を介して口や鼻から侵入し感染します。)
院内に入られる際は、擦式アルコール消毒剤による手指消毒と
サージカルマスクの着用をお願いいたします。
規則正しい生活を心掛け、感染予防に努めましょう。

HOME PAGE



国際親善総合病院
地域医療連携推進会議開催

平成26年9月25日、国際親善総合病院地域医療連携推進会議を開催しました。



本会は、地域医療に関わる医療機関の先生方と当院の医師をはじめとするスタッフにて相互に有する医療機能等を発揮しつつ、質の高い医療環境を確保し、地域住民や患者さんに適切な医療を提供するため、これまで以上の緊密な医療連携を図ることを目的としたものです。



泉区医師会副会長 渡邊 豊彦 先生(左)
泉区医師会会長 鈴木正比古 先生(中)
国際親善総合病院病院長 村井 勝 (右)

ご参加いただいた泉区医師会会長 鈴木正比古先生から「このような顔の見える意見交換はとても有意義な会なので、継続していただきたい。」とのご感想をいただきました。

この会議でのご意見等を活かし、今後より一層緊密な医療連携を図ってまいります。



新しい年を迎えて 再整備・改修に着手いたしました。すなわち病院機能強化と療養環境の改善を目指し、診療を継続しながら三年余の工事期間を予定しております。行政当局への届け出を経て、地域の住民の皆様への計画概要の説明とともにご理解を得る努力を工事関係者とともに進めました。その結果、八月からの駐車場の改変と整備の後、正面玄関ロータリー部分に新館棟（三階建、建築面積約1,000平米）の建設をスタートしており、竣工は今年八月末を予定しております。（完成図参照）。その後診療を継続しながら、現在あり



新年のご挨拶

病院長 村井 勝

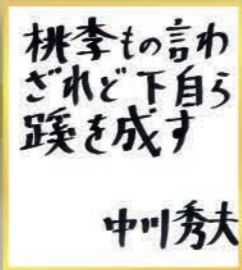
本館棟の改修を順次進めさせていただきます。工事に際し騒音、粉塵などはもとより工事車両の出入りなどに細心の注意をはらい、患者さんにはもちろんのこと近隣の皆様方にご迷惑をおかけせぬよう最大限つとめます。何卒ご協力のほどをお願い申し上げます。

良い医療は医師のみで出来るのではなく看護師、薬剤師、医療技術師、ソーシャルワーカーといった多くの人たちのチーム力があって初めて達成できるものです。さらに事務系職員、食堂、清掃係といった人たちの目に見えない支えも不可欠であります。私たちは本年も皆様のご指導・ご支援を得まして、さらに信頼される病院となるよう努力致す所存ですのでよろしくお願ひ申し上げます。

平成二十七年一月



この色紙は小職が座右の銘としております「一期一会」と書かせていただきました。皆様ご存知のように、この言葉は茶道の心得から発したものです。私も「人（患者さま）と接するときはその出会いを大切に、誠実な心で人と接するべき」と常に自分に言い聞かせるとともに、若い人にも説いてまいりました。



管理部長 中川 秀夫

歴史と伝統のある国際親善総合病院です。有能な医師に加え、現在進行中の再整備事業では施設設備も改善されます。宣伝はしなくても、良質な医療、親切な医療、信頼される医療を求めて自然と患者さんが集まる病院に、という願いを込めて書きました。



あけましておめでとうございます。今年も、当院をご利用される皆さまに、看護スタッフ一丸となって、心をこめて、看護ケアをさせていただきますので、叱咤激励のご意見をどうぞよろしくお願ひいたします。

看護部長 楠田 清美



少年よ、大志を抱け "Boys, be ambitious." (ウイリアムス・スミス・クラーク) 志あるところに道あり。"Where there's a will, there's a way." (英語の古いことわざ)。そして志を果たしていつの日にか帰らん山は青きふるさと 水は清きふるさと (尋常小学唱歌 作詞高野辰之)

副院長 清水 誠



晴れるの「晴」を書きました。今、どしゃぶりの雨の様なっらいことがあってもきつと曲がり角の向こう側 将来はきつと晴れることを信じて生きていきたいと思います。

副院長 飯田 秀夫



私の専門領域のバイオニアが、「まず始めなさい。始めたらやめずに続けなさい。」とわれわれを鼓舞してきました。すなわち「継続は力なり」です。 Starting is half of success. Don't quit once you start.

病院長補佐 安藤 暢敏

安心して治療や日常生活をお過しいただくために

～認定看護師による看護専門外来～

看護相談室 課長 三堀 いずみ

患者さんの声から

今日がんになる確率は2人に1人、がんで亡くなる方の数は3人に1人と言われ、当院にも多くのがん患者さんが通院されています。2010年に当院通院中のがん患者さんに看護部では、アンケートを行いました。その結果、不安な気持ちや困ったことなど相談したいが医療者には話していない、もし相談できる窓口があれば活用したい、という方が全体の72%という結果となりました。

看護相談室の設置

そこで患者さんがいつでも相談できる窓口があれば、安心して療養していただけるのではないかとということで、2011年に看護相談室が設置されました。現在は当院1階の外来フロア（栄養相談室隣り）に部屋を設けており、緩和ケア認定看護師と皮膚排泄ケア認定看護師の2名が担当しております。

看護相談室の役割

主にがんの患者さんやそのご

家族から

- ① 治療に関すること。
- ② 痛みなどの身体の症状に関すること。
- ③ 不安や心配ごとに関すること。
- ④ ご家族やお仕事などに関すること。

また、外来診療時に立ち会った医師の説明を補足したり、不明な点を確認しながら、疑問や心配事等を解決していただけるようお手伝いをしています。もちろんがん患者さん以外の方もご利用いただけます。

このような時は看護相談室をご利用ください

- 病気がもと言われたとき
- がんと診断された時
- 治療法がないと言われたとき
- ご家族の心配事
- これからどうすれば良いか分からないとき
- 病気全般にかかわること……など

緩和ケアとは

- ・痛みや、そのほかの苦痛となる症状を緩和する。
- ・生命を重んじ、自然な流れの中での死を尊重する。
- ・死を早めることも、いたずらに遅らせることもしない。
- ・死が訪れるまで、患者さんが自分らしく生きていけるように支える。
- ・患者さんの治療時から、患者さんと死別した後も、ご家族を支える。
- ・患者さんやご家族に、心のカウンセリングを含めたさまざまなケアをチームで行う。
- ・生活の質（クオリティ オブ ライフ：QOL）を向上させ、前向きに生きるちからを支える。
- ・がん治療の初期段階から、外科手術、化学療法、放射線療法などと連携しながら、緩和ケアを行う。

緩和ケアネットより引用 <http://www.kanwacare.net/kanwacare/point01.php>

看護専門外来について

◆WOC外来◆

当院には、ストーマ保有者を長期的にサポートするため「WOC外来」という専門外来があります。（WOC：Wound Ostomy Continence 皮膚・排泄ケア認定看護師の専門分野を表しています）

当院でストーマ造設術をされた方を対象に、皮膚・排泄ケア認定看護師がストーマの状態を診させていただきます。ケア方法の確認や日常生活指導、管理が難しいストーマをお持ちの方のケアと指導等を行います。退院後社会復帰をされたストーマ保有者が生活上の不便を



WOC外来の様子

感じないよう、またストーマを容れ、生活していけるよう日々関わっております。

◆リンパ浮腫外来◆

リンパ浮腫とは何らかの原因でリンパの流れが滞り、手足にむくみが生じる状態をいいます。このむくみは予防が大切ですが、生じてしまった場合はドレーナージやバンテージなどで軽減します。当院にはリンパドレナージセラピストが2名おり、当院におかかりの患者さん対象に、毎週金曜日の午後12時から15時を提供しています。今後は有償で対応させていただきます。



リンパ浮腫外来担当看護師

緩和ケア認定看護師

医療機関や在宅において緩和ケアを必要とする患者・家族が安楽な状態を維持し、その人らしく尊厳を持って生活できるようにサポートしています。身体的苦痛や精神的苦痛、社会的苦痛などの軽減やご家族も含めたケアを提供しています。

皮膚排泄ケア認定看護師

健康を害した皮膚ならびに皮膚障害のリスクの高い脆弱な皮膚に対し、スキンケアを提供すること、また、身体の機能低下や社会生活を制限する排泄障害に対して苦痛を取り除き、尊厳を保ち、生きる意欲や人間らしさを取り戻すためのケアを専門的な知識・技術を用いて提供しています。

※認定看護師とは

公益財団法人 日本看護協会認定 看護師認定審査に合格し、ある特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を有することが認められた者をいいます。

相談日時のご案内

平日（月曜日～金曜日）
午前9：30～12：30

＜予約優先＞

※その他の時間帯もご相談に応じます。
ご予約はおかかりの科の医師・看護師、または入退院受付にお申し出ください。
お電話でのご予約は看護相談室までお願いいたします。

※相談内容によっては、料金が発生する場合がございます。

看護相談室のご案内



看護専門外来担当看護師

国際親善 総合病院の

年男 & 年女 による ひつじ 作文 2015



外来受付担当
左：吉田 祥子
中：安藤 和江
右：塩谷 和世



診療技術部長
志村 等



リハビリテーション科
吉田 洋子



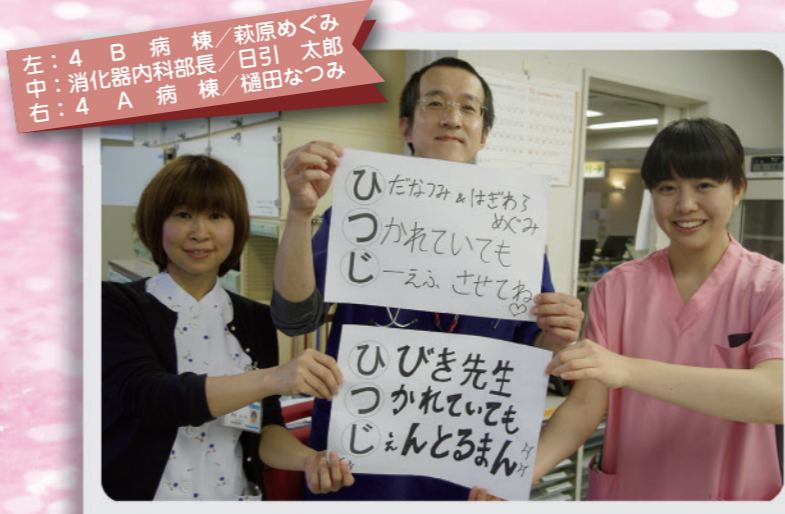
設備担当
富塚 雄介



左：経 理 課 / 小野 徹
中：副看護部長 / 大石 薫
右：職 員 課 / 佐藤 友輝



外 科
馬場 誠朗



左：4 B 病 棟 / 萩原めぐみ
中：消化器内科部長 / 日引 太郎
右：4 A 病 棟 / 樋田なつみ



左：総 務 課 / 碓 桃子
右：放射線画像科係長 / 伊藤今日一

掲 示 板

開催日時	テ ー マ	講 師
1月の健康懇話会は休会とさせていただきます。		
平成27年 2月13日(金) 15:00~	脳卒中の診断治療および栄養管理について	副院長 脳神経外科部長 飯田 秀夫 栄養科長 (管理栄養士) 高澤 康子
平成27年 3月9日(月) 15:00~	喉の違和感	耳鼻咽喉科医員 福生 瑛
平成27年 4月24日(金) 15:00~	睡眠時無呼吸症候群について	呼吸器内科部長代理 中田 裕介

開催日時	会 場	テ ー マ	講 師
平成27年 1月9日(金) 13:30~	泉 寿 荘	トイレのことを気にしない暮らしへ	病院長 村井 勝
平成27年 5月20日(水) 10:00~	中川地区センター 2階中小会議室	健康寿命について (仮題)	腎臓・高血圧内科部長 酒井 政司

会場の案内

老人福祉センター 横浜市 泉寿荘
横浜市泉区西が岡3-11
TEL: 045 (813) 0861
「福祉センター前」下車すぐ

中川地区センター
横浜市泉区桂坂4-1
TEL: 045 (813) 3984
「国際親善病院前」下車 徒歩5分
「地区センター」下車 徒歩3分

わいわいクラブの手作りパン

販売予定日

1/15 (木) 2/19 (木) 3/19 (木)

場 所：地下1階食堂前 時 間：11:00~
*売り切れ次第終了です。
*毎月第3木曜日(予定が変更になる場合があります。)

管理栄養士の
メれしむ
メディカル

“旬”と呼ばれる食材は、味・香り良く、栄養価も高くなります。冬の食材は体を温めるなど効果が期待できる食材が多くみられます。

今回使用したプリは良質なタンパク源である事はもちろんですが、DHA(ドコサヘキサエン酸)とEPA(エイコサペンタエン酸)が多く含まれており、悪玉コレステロールや中性脂肪を減らし、逆に善玉コレステロールを増やす働きがあり、生活習慣病の予防効果があるとされています。また、柚子はその独特の爽やかな香りで季節を感じ、減塩効果も期待できます。

最近では、ハウス栽培や養殖などにより1年を通じて店頭で並ぶ食材が増えましたが、旬の食材を取り入れ食卓で季節を感じてみてはいかがでしょうか。

管理栄養士
黒岩 舞衣



今回もベジメコ 栄養価 (1人前)
ぶりの幽庵焼き エネルギー 200kcal
 蛋白質 15.6g
 脂 質 12.3g
 塩 分 0.9g

材 料 (1人前)
★ぶり=70g ★料理酒=こさじ1/2杯 ★みりん=こさじ1/2杯
★醤油=こさじ1杯 ★刻み柚子=10g ★長葱=20g(付け合わせ)

作り方

- ① 酒、みりん、醤油を混ぜる。
- ② ぶりは容器へ並べ、刻んだ柚子をのせ、①を上からふりかけ、2-3時間つけ込んでおく。
- ③ 付け合わせの長葱をフライパンで焦げ目がつく程度に焼く。
- ④ 熱したフライパンで②を焼く。

※ 当院の病院食をご紹介します。

秋 ながゆめ

【第一駐車場】



ススキ Susuki

【二階中庭】



もみじ Momiji

【第一駐車場】



ジンジャー Ginger

【第一駐車場】



レッドロビン Red Robin

【二階中庭】



ランタナ Lantana

病院のできごと 10月~12月



10月21日(火) 地域全体で支える医療・介護の充実に向けて

地域連携学習会



当院のスタッフを対象として、「地域で支える医療連携」というテーマにて「在宅ネット横浜」代表・オカダ外科医院院長 岡田孝弘先生にご講演いただきました。

11月21日(金) 横浜市の中川地区センターにて

しんぜん院外健康教室

泌尿器科部長 村井哲夫医師による「泌尿器がんと緩和ケア」の講演会を開催。96名の方にご参加いただき「近年、緩和ケアの必要性が話題になっていることの意味がよくわかった」「今後さらに緩和ケアに力を注いでほしい」等のご感想をいただきました。



11月25日(火) 泉区文化センターテアトルフォンテにて

いずみ防災講演会



泉消防署・泉火災予防協会主催の「いずみ防災講演会」の第一部にて当院副院長 清水 誠医師による「循環器系救急疾患の対処法」の講演会を開催しました。約200名の方にご参加いただきました。

12月24日(水) 病院長がサンタクロースに!

クリスマスイベント

クリスマスイブの日、村井勝病院長がサンタクロースに扮し、入院患者さん一人一人にクリスマスカードを手渡しのプレゼント。突然現れたサンタクロースにたくさんの感謝のお言葉をいただきました。



病院再整備工事について

当院は、現在新館棟建設工事中です。工事期間中は、患者さまをはじめ地域の皆さまに大変ご迷惑をお掛けいたしますが、何卒ご理解ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

*再整備工事の詳細につきましては、ホームページ (<http://shinzen.jp>) をご覧ください。



日本医療機能評価機構



ECO 活動推進



敷地内全面禁煙

